



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2025. **4**月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 412

国際会長：A. Shanvaskhan [インド] より良い世界のために、共に
Together for a Better World

アジア太平洋地域会長：Joan Wong [香港] 大きなインパクトを起こそう
Make a Great Impact

西日本区理事：鵜丹谷 剛 [神戸クラブ] つなげよう地域と世界 YMCAとともに
Connect Local and World with YMCA

九州部部长：大崎 隆 義 [熊本さくらクラブ] 始めからもう一度



みつかる、つながる、よくなっていく

鹿児島クラブ会長 新内 博之

3月定例会報告

鹿児島クラブ 松若 鉄比古

3月定例会は、3月25日(火)「珈琲かみむら」で神村ワイズから薫り高きコーヒーを振る舞って頂き、茶話会みたいに和んだ雰囲気で開催されました。早いもので今年度も残り3ヶ月となり、新内会長の活動主題である「みつかる、つながる、よくなっていく」を基に、今月はテーマとして「ワイズの活動を1年間やって見つけたこと」について、ショートショートで報告してもらいました。最初に鹿児島クラブ設立(1999年2月)から活動されてきた神村ワイズは、ワイズに入会して良かった事として、「劣等感、苦手だった人前での報告、文章の作成の3点を克服出来た」事を苦労談として報告されました。これにはブリテン委員として相当努力されたことが窺えました。また、他のワイズからも色々な報告がありました。「ワイズとYMCAの活動を通じて自分の人生が豊かになった」、「クラブ役員を離れた視点から活動を再考察出来た」、「創意工夫された例会の素晴らしさ」、「他クラブとの交流の楽しさ」、「頼れる仲間がいること」等々具体的に報告がありました。報告にはワイズ活動に対する熱意が感じられました。今後、お互いの知恵を出し合い、焦らず一步一步を積み重ねていけば、大きな輪が形成できると思います。



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



みつかる、つながる、よくなっていく

先日、無事にチアダンス発表会も終わることができました。早いもので、11回目の発表会。3歳から60オーバーのシニアの方々まで総勢260名を超えるチアリーダーたちが1年の成果発表として素晴らしい舞台を見せてくれました。

毎年、発表会は節目の機会となります。発表会を機に次のステージに進む人もいれば、発表会を経て次の目標をみつけて頑張ろうとしてくれる子どもたちがたくさんいます。鹿児島YMCAでは競技大会にチャレンジしているMagicというチームがあります。その子たちにとって発表会はチーム活動として1年最後のダンスする機会です。

Magicの子どもたちも同様に発表会を機に、今後どうするかを親子で話し合い、私と三者面談という形で次に向けての話し合いの場を設けます。約50組の家族を対象に毎年実施していますが、実に様々な話を聞くことができます。1年の中でおきた楽しかったこと、辛かったこともたくさん聞くことができますが、私は必ず1年間で成し遂げたい目標について子どもたちやご家族の方から伺うようにしています。なぜそのような質問を必ずするかというと、明確な目標を見つけている子は、その目標に対して向き合う中で、やりがいを見つけているからです。そしてそれが心身ともに成長するための重要なエッセンスだと考えているからです。

目標を成就するために、子どもたちは様々なことに気づくことがありますが、その中のひとつにひとり目標に近づいていくことの難しさです。チアダンスはチーム競技であり、仲間とのつながりがもたらしてくれるものにたくさん触れることができます。1年の目標に対しての達成度を面談で聞く際に、子どもたちはひとりの無力感を感じるとともに、仲間がいることの尊さを口にします。

競技大会は結果が出る世界ですので、結果に一喜一憂してしまうものですが、明確な目標を掲げることで、その結果にとらわれず、このような部分が成長したと自身で分析できるくらいチアを通して人生が良くなっていることを実感しています。そしてその子どもたちの成長を見守っているお母さんからわが子の成長を実感し、チアを頑張ってよかったと話をしてくれます。

毎年面談をするたびに、チアでしたいことをみつけ、仲間とつながり、1年を振り返ってみるとよくなっている人生を過ごす子どもたちの姿をみて、素晴らしい仕事に従事していると心から感謝しています。そしてその子どもたちから学ぶことは、自分自身もやりたいと思う何かをみつけることが大事だなとおもいます。

ワイズの活動を通して、したい何かをみつけ、クラブの仲間たちとのつながり、クラブを通してつながる関係性をもっと育み、ワイズにいるから素敵な人生があると自慢できる、そんなワイズメンになっていきたいと、誓いを新たにした4月の出来事でした。

つなげよう地域と世界 YMCAとともに
Connect Local and World with YMCA

最初に、3月28日にミャンマー大地震が発生しました。甚大な被害です。今後のタイ、ミャンマーのYMCA、ワイズ等からの情報を待ちつつ、多くの被災された方々の安寧を祈ります。さて、寒暖を繰り返しながらも、本格的な春の到来は間近、桜満開も目前です。春の訪れと共に活動も盛んになり、各部でも評議会等の開催も多いことかと存じます。また、西日本事業目標の各種献金に各クラブより多大なるご協力を頂き、感謝を申し上げます。ありがとうございました。

3月1日開催の次期会長・主査研修会では、特に初参加の方には大きな学びと刺激の場になった事と思われます。今回は、ビエンチャンYMCA国際ホテル学校開校への本格的な進捗も共有でき、今後皆さまへ事業への更なるご理解等をお願いしたい次第です。また研修会の一部を西日本区全メンバーも参加できる試みを初めて実施しました。試行段階ではありますが、引き続き有意義な学びの場を検討できればと思います。

16日にはYouth Action 2024の活動報告会が開催され、10チームが今日的な社会課題ヘトライした活動の成果は本当に素晴らしいものでした。想定外の課題に遭遇しながらも、チーム一丸で社会とつながりチャレンジした経験は、活動を通じての社会貢献に加え、メンバーの大きな自己成長と練達を生み出しました。分科会ではプロジェクト継続への展望やワイズへ期待したい事も伺いました。ユースから世界を変えたいとの大きな夢の実現に向け、我々が出来る得る今後の可能性について、引き続き検討していきたいと感じた次第です。

また、19-20日には能登半島町野町に初めて訪問しました。百聞は一見に如かず、復興は本当にまだまだこれからです。地元の方や復興ボランティアの方との話を通じ、我々団体の災害支援の在り方なども考えさ

せられました。そんな中、神戸ポートクラブメンバーと一緒にYカフェのひと時を地域の方にも楽しんでいただきました。

そして、22日には、昨年台風で延期された待望の西中国部部会が岩国で開催されました。錦川船上懇親会にワイズ花火など、嗜好を凝らしたプログラムでフィナーレを飾るすばらしい部会でした。この一年、随所で盛り上げて頂いた坂田部長の集大成ともいうべき、猪木パフォーマンスで大いに盛り上がりました。この勢いは西日本区大会まで・・・(笑)。

さて、4月25日は世界マラリアデーです。マラリア撲滅に向けたRMB(ロールバックマラリア)運動への支援は、YMIの国際的な取組プログラムです。人間を最も殺めている世界の生物は蛇やワニなどではなく、他でもない蚊なのです。世界では一年に60万人程が未だにマラリアで命を落としています。日本では実感しにくい課題へも、是非関心を寄せていただければとおもいます。我々が世界でつながる事で、困難な事でも出来ることが多くあると思います。

いよいよ、今年度も第4コーナーに差し掛かりましたが、皆さま、『まだまだ元気ですか?』引き続きポジティブに残り3カ月の活動を進めてまいりましょう!

第31回アジア太平洋地域大会(AC2025)に向けての裏話 3月

第31回アジア太平洋地域大会の登録料が「45,000円もするのか!」「高い!」とのご意見を賜っている。

ホテル晩餐会食事代の15,000円が2回分とホテル会場費、熊本城ホールの3日間借用代、エクスクーション補助、大会パンフレットや冊子の印刷代、大会までのアピール隊への補助などなど、支出を抑えてもこの物価高で予算が膨らんでいく。

主催者側もため息が出る。比較にはならないが、1日開催の西日本区大会は早割で21,000円であり、2日にすれば42,000円。直前登録では23,000円なので、その2倍は46,000円。どちらにしても参加費を積み立てねばと思う。

「AC2025参加は、外国まで行かずに世界各国のワイズメンとの交流ができる。しかも、熊本で堪能できるのである。これこそが、AC2025参加最大のメリットである!」と、強く思う私なのです。

皆さま!「来なっせ 熊本!」

今月の樹 ナシ(梨)

以前は「20世紀」梨が最も有名であったが、今は「幸水」や「豊水」に人気がある。20世紀には水分が豊富だがややシャリシャリした感触があるのに対して、「幸水」や「豊水」は甘みが強く感触が柔らかい。

4月～5月、木に一杯の白い花を付ける。日本の梨は、ヤマナシ(*Pyrus pyrifolia*)から品種改良されたものである。

写真は我が家の庭に咲いたナシの花である。今年は何個の実が鳴ることか。

学名は *Pyrus pyrifolia* Nakai var. *culta* Rehd. cv. *Kousui* で、バラ科ナシ属である。(ウイキペディア参照)



3

March

3月定例会報告

日 時: 令和7年3月25日(火) 19:00～20:30

場 所: 珈琲かみむら

出席者: 9名

司会者: 徳田 穰ワイズ

内 容: ショートショート

テーマ

「ワイズの活動を1年間やって見つけたこと」

今月の聖句

私は、平和をあなたがたに残し、私の平和を与える。

(ヨハネ14章27節)



3月例会の記録

クラブ在籍者	9名
出席者	8名
メネット	1名
コメット	0名
ゲスト	0名
ビジター	0名
メイクアップ	1名
3月出席率	111%

鹿児島ワイズメンズクラブ
WEBサイトはこちら▶



CAST Magic Faith 世界大会出場決定！

鹿児島YMCAチアダンススクールの「CAST Magic Faith」は3月に行われたチアダンスの全国大会「USA Nationals 2025」において Senior 編成 Pom 部門第4位を獲得、チアダンス国際機関のIASFが主催するクラブチーム世界一を決める大会「The Dance Worlds 2026」に推薦されました。2023年に同大会に初めて出場し準優勝して以来の出場となります。ルール変更により、同年の出場ではなく、1年後の出場となりますが、推薦いただいたことを栄誉とし、引き続きその大会に向けて各所で努力していく所存です。

出場大会及び出場者概要

大会名：IASF「The Dance Worlds 2026」

日時：2026年4月24日（金）～4月27日（月）

会場：米国フロリダ州オーランドディズニーワールド コロナドホール

出場概要：Open 編成 Pom 部門

●大会出場予定者（計8名）（学年は2025年度より）

新内 博之（しんない ひろゆき）（代表）

新内 容子（しんない ようこ）（指導者）

岩下 莉音（いわした りお）（高3年）※キャプテン

永仮 咲貴（ながかり さき）（高3年）※副キャプテン

瀬戸山 柚妃（せとやま ゆずき）（高3年）

岩川 咲彩（いわがわ さや）（高3年）

田島 美皐（たじま みこ）（高2年）

白石 環（しらいし たまき）（高1年）

稲留 彩希（いなどめ さき）（高1年）

永仮 摩貴（ながかり まき）（高1年）



鹿児島YMCA 新内 博之